

## 令和 7 年 9 月定例会 一般質問

| 議員        | 項目                               | 質問要旨  | 答弁   | 答弁概要   |
|-----------|----------------------------------|---|------|--|
| 寺島 由美子 議員 | (1) 公立図書館と市内の図書施設について<br>図書館について | 図書室・図書コーナーが図書館にあたらぬ理由について伺う。                            | 市長   | <ul style="list-style-type: none"> <li>本市には、図書館以外に 6 施設の図書施設があるが、地域センター、生涯学習センター及び尊徳記念館というそれぞれ設置目的の異なる施設の一部として設置されているものであり、法的な観点からすると、図書館法に規定する図書館にあたらぬ図書施設と認識している。</li> <li>これらの図書施設においても、図書館に準じた利用者サービスを提供できるよう努めており、図書館ネットワークシステムによるネットワーク施設に位置付けるなど、図書館もその運用に関与している。</li> </ul>  |
|           |                                  | 図書室・図書コーナーを図書館が管理しているのか。                                | 市長   | <ul style="list-style-type: none"> <li>地域センター、生涯学習センター及び尊徳記念館の 6 施設の図書室・図書コーナーは、それぞれの所管が施設の管理にあっている。</li> <li>これら 6 施設の蔵書については、図書館が所管する図書館ネットワークシステムによりインターネットからの一括検索・予約を可能とし、いずれの施設でも貸出・返却ができるといった一元管理を行っている。</li> <li>これらの図書室・図書コーナーについては、近年市民から蔵書の更新を求める要望をいただいていることから、令和 6 年度から図書館の蔵書を一部移管する取組を進めており、今後も図書サービスの充実に努めていく。</li> </ul>                  |
|           |                                  | 市内図書施設への自動車文庫による配本状況について伺う。                             | 市長   | <ul style="list-style-type: none"> <li>本市では、図書館から離れた地域にお住いの市民の方にも日常的な読書機会を提供するため、各地区の放課後児童クラブや自治会・家庭文庫など、35か所の配本所へ図書を定期的に配本している。</li> <li>地域センター、生涯学習センター及び尊徳記念館の 6 施設の図書室・図書コーナーも自動車文庫の配本所としているが、これら 6 施設には、図書館から約 2,000 冊の図書を、定期的に入れ替えながら配本している。</li> <li>これらの図書室・図書コーナーの蔵書に加えて、自動車文庫による図書館から配本した図書をご利用いただくことで、より多くの利用者の読書ニーズにお応えするよう努めている。</li> </ul> |
|           |                                  | 図書室・図書コーナーを図書館が管理すべきと思うが見直しはしないのか。                      | 文化部長 | <ul style="list-style-type: none"> <li>図書室・図書コーナー 6 施設は、各々の施設の一部として設置されており、それぞれの施設管理者が各施設を一体的・効率的に管理している。</li> <li>一方で、図書室・図書コーナーの利用者サービスについては、図書館ネットワークシステムの維持管理やネットワーク施設間の図書搬送など、図書サービスの重要な部分について図書館が担っており、施設管理者との適切な事務分担が図られていることから、現状の管理を継続していきたい。</li> </ul>  |
|           |                                  | 自動車文庫の活用は図られているようだが、市内各 6 施設の図書室・図書コーナーの年代別の利用状況について伺う。 | 文化部長 | <ul style="list-style-type: none"> <li>自動車文庫で配本した図書に限定した利用状況の抽出はできないが、地域センター、生涯学習センター及び尊徳記念館の 6 施設の図書室・図書コーナーの令和 6 年度の利用者の年代別傾向を抽出したところ、貸出利用者が 41,748 人となっており、利用が一番多い年代は 70 代で 10,314 人、全体の 24.71% となっている。</li> </ul>  |
|           |                                  | 自動車文庫の配本先として放課後児童クラブがあるが各学校を加えることはできないのか。               | 文化部長 | <ul style="list-style-type: none"> <li>配本先は、利用団体の希望に沿って決定しているが、現在、市内小学校 25 校の放課後児童クラブを配本所として登録し、それぞれ 3 か月ごとに配本している。</li> <li>また、自動車文庫以外の図書館利用施策となるが、市内小中学校には、教職員が希望された図書を最大 100 冊、1 か月間貸出することができる団体利用貸出をご利用いただいております。令和 6 年度実績では全校で合計 94 回、701 冊の貸出しがあった。</li> <li>今後とも自動車文庫やこの団体利用貸出などを通じて、各小中学校における図書館サービスの利用促進に努めてまいります。</li> </ul>                   |
|           |                                  | 配本の仕組みを学校図書館に適用できないのか伺う。                                | 文化部長 | <ul style="list-style-type: none"> <li>自動車文庫によって学校図書館に配本することは、可能である。</li> <li>しかしながら、学校図書館が要望する図書の種類や配本の頻度によっては、自動車文庫で対応できない場合も考えられることから、学校図書館からの要望の把握に努めてまいります。</li> </ul>  |
|           |                                  | 図書施設も、子育て世代が過ごせる場所や学習スペースなどの確保を進めるべきではないか。              | 文化部長 | <ul style="list-style-type: none"> <li>けやき図書室では、親子で本を楽しめるようにソファを設置しており、マロニエ図書室でも、親子で絵本等を読むことができるコーナーを用意している。</li> <li>スペースに限りがあるため、新たに学習スペース等を確保することは難しいが、様々なニーズに応えられるよう工夫してまいります。</li> </ul>  |
|           |                                  | 図書施設は、将来的な有料化の可能性があるため、無料サービスを保障するため図書館として管理すべきではないか。   | 副市長  | <ul style="list-style-type: none"> <li>図書室・図書コーナー 6 施設の蔵書は、図書館が所管する図書館ネットワークによる一元管理を行っており、図書館で使用している貸出券を用いた統一的手続きによって貸出しを行っている。</li> <li>現状の管理体制を継続していく上では、図書室・図書コーナー 6 施設を含めて、図書館同様の無料サービスを維持していくことは、当然の前提となるものと考えている。</li> </ul>   |

# 令和7年9月定例会 一般質問

| 議員        | 項目                                    | 質問要旨  | 答弁   | 答弁概要  |
|-----------|---------------------------------------|---|------|---|
| 寺島 由美子 議員 | (2) 学校図書館の役割と公立図書館との連携について<br>図書館について | 学校図書館の開館の状況について伺う。  | 教育長  | <ul style="list-style-type: none"> <li>学校図書館は、ほとんどの学校で、基本的に毎日開館している。</li> <li>開館している時間や、本の貸出返却を行う時間等は、各校で決められている。</li> </ul>  |
|           |                                       | 学校図書館の役割について伺う。   | 教育長  | <ul style="list-style-type: none"> <li>学校図書館には、豊かな心を育む自由な読書活動や読書指導の場である「読書センター」としての役割や、児童生徒の自発的、主体的な学習活動を支援する等、教育課程の展開に寄与する「学習・情報センター」としての役割がある。</li> <li>また、教員の教材研究等をサポートする役割や子どもたちの「居場所」としての役割もある。</li> </ul>   |
|           |                                       | 学校図書館の役割についての課題を伺う。   | 教育長  | <ul style="list-style-type: none"> <li>「学習・情報センター」として、児童生徒が必要な時にいつでも図書や資料を活用できるように、各校の教育課程に合わせた蔵書の種類や量を充実させることや、必要な資料がすぐに探せる配架の工夫等を進めていくことなどが課題であると捉えている。</li> <li>また、教員が教材研究等を行うための資料や、教材として使える資料の収集など、教員のサポート機能についても、さらに充実させる必要がある。</li> </ul>                        |
|           |                                       | 学校司書の役割について伺う。  | 教育長  | <ul style="list-style-type: none"> <li>学校司書は、各学校の学校図書館運営計画等に基づき、読書相談や学習支援、学校図書館の環境整備、蔵書管理等の業務を行っている。</li> <li>これらの業務を司書教諭や図書館担当教員、図書ボランティアと連携・協力しながら行い、学校図書館運営の充実を図っている。</li> </ul>   |
|           |                                       | 学校図書館と本市の公立図書館が連携していることは何か、また、共通の目標はあるのか伺う。                 | 教育長  | <ul style="list-style-type: none"> <li>図書館が行っている電子図書館について、小中学校の全児童生徒が学習用端末等で利用することが可能であり、学校等での読書に活用されている。</li> <li>また、学校が中央図書館等の本を最大100冊まで借りることができる団体利用貸出や、調べ学習の支援などの連携も行っている。</li> <li>学校図書館と公立図書館は、それぞれの役割があるが、読書活動の推進等を通して子どもの豊かな心の育成を目指していくという目標は共通している。</li> </ul> |
|           |                                       | 学校図書館の空調整備について伺う。   | 教育部長 | <ul style="list-style-type: none"> <li>学校図書館を含む特別教室への空調整備については、学校ごとの要望に基づいて設置している。</li> <li>令和7年8月時点で、小学校は25校中16校、中学校は11校中2校が設置済みであり、令和7年度に中学校3校が設置予定である。</li> <li>学校図書館の空調整備の必要性は認識しており、学校施設整備全体の優先順位の中で、学校の要望も踏まえ、検討していく。</li> </ul>                                  |
|           |                                       | 学校図書館の企画への本市の公立図書館の参加や、学校司書と本市の公立図書館の司書の交流を行っているのか伺う。       | 教育部長 | <ul style="list-style-type: none"> <li>学校図書館が行う企画等に公立図書館の職員が参加する取組は把握していない。</li> <li>また、学校司書と公立図書館の司書が交流する場は設定していない。</li> </ul>   |
|           |                                       | 学校司書の勤務時間を増やすことや、学校司書の研修会や連絡会を定期的に行うことについて、教育委員会の見解を伺う。     | 教育部長 | <ul style="list-style-type: none"> <li>学校図書館のより一層の充実に向けて、学校司書の勤務時間については、拡充していくことが望ましいと考えている。</li> <li>学校司書の働き方や人材確保等の課題もあるため、勤務している方の意向も踏まえ検討していく。</li> <li>学校司書の研修会と連絡会は、それぞれ年に1回開催しており、今後も内容が充実するよう努めていく。</li> </ul>  |
|           |                                       | 学校司書と、本市公立図書館の司書を含めた図書館の現場を知る関係者が、意見交換する場を設けるべきと考えるが、見解を伺う。 | 教育部長 | <ul style="list-style-type: none"> <li>教育委員会では、年に1回学校司書連絡会を開催して、学校図書館の環境整備や読書活動の充実に向けて、互いの取組や課題等について学校司書が意見交換する場を設けている。</li> <li>市立図書館との連携に関して意見がある場合には、学校司書連絡会で伺い、教育委員会が必要があれば、図書館へ伝え連携していく。</li> </ul>  |

令和7年9月 決算特別委員会総括質疑（図書館）

| 議員             | 項目          | 質問要旨                        | 答弁   | 答弁概要  |
|----------------|-------------|-----------------------------|------|---|
| 加藤<br>仁司<br>委員 | 図書資料購入費について | 週刊誌を図書館が購入する必要があると思うが所見を伺う。 | 文化部長 | <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 図書館では、図書館法に定める「時事に関する情報の提供」の一環として雑誌を購入しており、市民にご利用いただいている。</li> <li>▪ 本市図書館の資料収集方針では、広く市民の読書ニーズにお応えするため、国内発行の週刊誌など基本的な雑誌を中心に、婦人雑誌やスポーツ誌といった趣味・娯楽の分野も含めて収集することとしており、現在中央図書館だけでも94誌を収集している。</li> <li>▪ 初めて来館される方でも気軽に楽しめる図書館づくりを通じて、より多くの市民の読書に対する関心を高めていくため、手に取りやすい雑誌を幅広くご用意することも必要なことと考えている。</li> </ul> |